



会員企業紹介

安積商店

「心を寄せて、寄せ豆腐」

Vol. 63



今回は、白く柔らかい食感を持つ日本独特の食品である豆腐の製造を営む安積商店3代目の安積和雄さんにお話を聞きました。

豆腐製造業は、朝が早い業種であり、ここでも午前2時から製造し、出来上がった豆腐を取引先の

市内スーパーや飲食店、病院等に販売しています。朝が早いことは、幼い頃から父親の背中を見て育ち、また学生時代には手伝いをしていたので、気にはならないようです。

一般豆腐の大量製造販売ほかに、市内では唯一「竹ざるに載せた豆腐」を製造販売しています。この豆腐は、にがり100%でかためた豆腐を竹ざるに載せ、プレスをかけずに自然な力で余分な水分を落します。食感がよく、皆さまに喜ばれています。他社がこれを製造しない理由は、手間がかかり大量生産ができないことと、温度管理が難しく日持ちがしないことです。

また、ここでは冷蔵車を利用し広範囲に品質を落とさず

販売しています。

「今後、スーパーでは、市外の大規模工場から仕入れることが予想され、取引量が減少するだろう。他社が販売していない商品や、新商品を開発し提供することにより、業界で生き残っていこう」と考えておられます。

日本人の80%以上が週に一度は豆腐を食べると言われています。このように日本の食文化に深く浸透している食品の一つである豆腐は、古来から長寿食と言われてきました。「その製造に携われることに感謝と喜びを感じ、消費者からの『美味しい』という言葉を励みに日々豆腐を作っています。すべての工程にこだわって提供しています」と話され、今後益々の飛躍が期待されます。

【会社概要】

事業所名／安積商店

代表者／安積和雄

所在地／舞鶴市字余部上68

TEL／0773-62-5146 FAX／0773-63-9413

事業内容／豆腐・油揚げ類 製造卸販売 ざる豆腐



新入会員 企業紹介

社会福祉法人 安寿会

「笑顔に囲まれた職場に」

Vol. 38

今回は平成7年に上安に開設された、社会福祉法人安寿会の理事で施設長でもある山根洋子さんにお話を伺いました。

安寿会には8事業所があり、入所による介護をはじめ、通所介護、訪問介護等を行っておられます。

安寿会の名称には、人生を共に楽しく、安心また安楽に長寿を全うする「共楽安寿」という意味が込められているそうです。職員と利用者が笑みを浮かべて、ゲームを楽しんでいるのを間近で見て、より一層名前に付けられた思いが伝わりました。

同会では、例えば食事、入浴の時間を一人ひとりに合わせるなどして、利用者のニーズに応じています。また職員のアイデアも常に取り入れています。利用者が自力で食事をするため、補助スプーン等の導入により自分の好みの量、自分のペースで食べることも職員の提案から実現したそうです。

安寿会ではイベントを常に開催し、取材を行った日は夏祭りの準備をされていました。夏祭りには近所の子供達も呼び、利用者の方も盆踊りをするそうです。その他にも、季節に合ったイベントや最近では高浜の方へつつじを観にドライブに行くなどもしています。

今後の取り組みとしては、在宅介護サービスの幅を広げることや、利用者のニーズにさらに応えていけるようになりたいと話されていました。



「共楽安寿の里」と彫られた石碑

【会社事業所概要】

事業所名：社会福祉法人 安寿会

代表者：理事・施設長 山根 洋子

所在地：舞鶴市字上安481番地

TEL：0773-75-8981

従業員数：99名

事業内容：老人介護事業